

がんゲノム遺伝子検査

(ファウンデーションワン)

FoundationOne を

新たに導入しました



がんセンター

副センター長・がんゲノム診療部門長 二村 学先生
「保険診療で行うがんゲノム遺伝子検査」

副センター長 牧山 明資先生
「がん患者さんと新型コロナウイルス」

保険診療で行う がんゲノム遺伝子検査

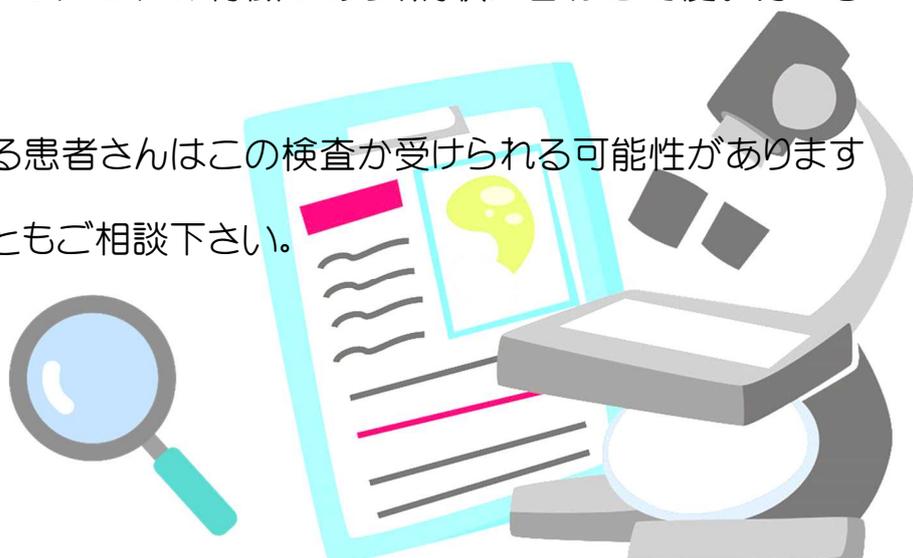


我が国では、「がん診療において個別化医療を進めていく」という国策のもと、2019年6月に、がんゲノム遺伝子パネル検査が保険診療で出来るようになりました。これは、患者さんの体から手術や生検で取り出したがん組織を用いてがんの遺伝子異常を調べ、その異常に適応したお薬を見つけ出し、より有効な治療を行っていかこうとする最新の医療技術です。

岐阜大学医学部附属病院では、国立がん研究センター

東病院と連携を組み合わせながら、がんゲノム医療を進めています。がんゲノム遺伝子パネルは、NCC オンコパネル(114 遺伝子を調べます)と Foundation One (ファウンデーションワン)(324 遺伝子を調べます)の 2 種類があり、2020 年 8 月からどちらの検査も試行可能となりました。これらにはそれぞれの特徴があり、病状に合わせて使い分けることができます。

現在、抗がん剤治療を行っている患者さんはこの検査が受けられる可能性がありますので、ご希望の患者さんは是非ともご相談下さい。



がん患者さんと 新型コロナウイルス



副センター長
牧山 明資

がん患者さんのすべてが新型コロナウイルスにかかる危険性が高い訳ではありませんが、特に化学療法や放射線療法は免疫に影響を与えて感染症にはかかりやすくなります。

コロナウイルスも感染症の一つですので、感染を回避するためにできるだけ注意を払う必要があると考えられます。また、もしかかった場合に重症化する患者さんの割合についても一般の人よりは高いと報告されています。

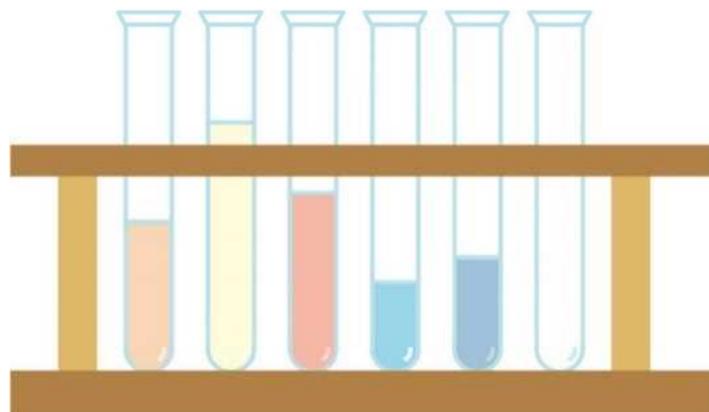
特にご高齢の方であったり、心血管障害をお持ちの方はリスクが高いため、自分自身だけでなくご家族にも感染防御対策に十分留意していただきましょう。

詳細な情報については学会より患者さん向けの Q&A が公表されていますので、下記の URL からアクセスをお願いします。

https://www.jsmo.or.jp/general/coronavirus-information/qa_3gakkai.html

日本臨床腫瘍学会

検索



がんに関する相談窓口のご案内

患者さんやご家族のほか地域の方々はどうなっても**無料**でご利用いただけます。

ピアサポーターによるがん患者サロン(和み)

「どこに聞いたらいいのかわからない。」「どうしていいのかわからない。」「不安な気持ちを聞いてほしい…。」そんな心配ごとや不安な気持ちを一人で抱えずに、どうぞ「**がん患者サロン(和み)**」をご利用ください。

自身もがん経験者である相談員が、同じ目線でがん患者さんやご家族の不安な気持ちを伺い、心の支えとなるよう運営をしております。また、他病院からのご利用者も多く、「心が癒された」とご感想をいただいております。なお、開催日は、下記お問い合わせください。

社会保険労務士によるがん就労相談

がんと診断されて、仕事を続けることで悩んでいませんか？治療後の仕事復帰に不安を感じていませんか？現在は、負担の少ない治療法や治療薬が進展し、働きながら治療をし続けることも可能になってきました。

仕事と治療を両立するために、仕事の調整方法や社会保険制度の利用などを社会保険労務士と一緒に考えます。仕事の悩みを一人で抱えずに、どうぞ「**がん就労相談**」をご利用ください。なお、ご相談は予約制となっておりますので、下記お問い合わせください。

～相談のご依頼、ご質問はこちら～

岐阜大学医学部附属病院 1階

がん相談支援センター

相談日 : 月～金曜日(祝祭日を除く)

電話 : 058-230-7049

時間 : 9:00～17:00

ご相談は予約をお取りください。

